

ワルシャワ大学での共同研究

理学系研究科物理学専攻博士課程3年 小林伸

私は2021年6月15日から7月15日までの間、ワルシャワ大学の研究者の方と共同研究を行った。本来であれば、現地に赴いて対面での議論を交わしたいところだったが、流行中の covid-19 の影響でオンラインでの共同研究となった。私はこれまでに複合粒子的なダークマター模型の研究を行ってきており、ワルシャワ大学では過去にも同様のテーマで共同研究の経験がある鎌田歩樹助教が受け入れてくださった。共同研究の期間中は、鎌田氏の共同研究者も含めたセミナーの場で発表をする機会を設けていただき、他の研究者との議論を通して自身の研究とその周辺分野への理解をより一層深める有意義な時間となった。共同研究については、まだ未完成の部分があるため、引き続き議論を行い、学術雑誌への投稿を目指す予定である。

最後に、今回の共同研究者である鎌田歩樹氏、北京大学の桑原拓巳氏をはじめとして、セミナー等で議論をしていただいた研究者の皆様に深く感謝を申し上げます。



オンラインでの議論の様子